

花まつり ～秋尊降誕会～ 令和5年5月14日

5月14日(日)、毎年恒例の大乗院薬王寺の花まつりが行われ、多くの皆様にご参加いただき、多くのご縁に足を運んでいただきました。仏法興隆・世界平和の大願を立てられた、令和救世観音の開眼供養からはじまり、世界百八ヶ所に寄贈され日本では最後となる大法要に、当日は台湾より釋一吉老師らをお招きし、伊達市大雄寺奥村孝善御住職御導師のもと勤修致しました。



続いて山内による灌仏会を勤修致しました。参加された方は誕生仏にあま茶をかけてお祝いを致しました。ゲーム等を楽しんで頂きました。毎年5月の花まつりはお子様達に喜んでいただける催しを開催しています。来年度もぜひご参加下さい。



令和5年7月号

道しるべ

宮の森 大乗院

令和五年 お盆号

大乗院寺報 令和5年7月
〒064-0958
札幌市中央区宮の森1263-3
電話(011)641-8904
FAX(011)631-0004
E-mail yakuo@triton.ocn.ne.jp
第92号

新盆万灯塔婆供養

8月15日(火)午後4時30分より
～本年初めてお盆を迎える御霊の御塔婆供養です～

お盆大塔婆供養

8月20日(日)午後1時30分より
～御先祖様への感謝報恩の御塔婆供養です～



龍仙寺御住職 清水常雄 老師
午後12時50分より

御法話 時節柄、お食事を用意しておりません。
※お食事を済ませてからご来場お願い申し上げます。

8月に年忌法事にあたる方へ

お盆期間中(8月)は、ご法事の繰り上げをお願いしております。四十九日法要はお勤めに上がりませんが、お時間やご納骨についてはご相談させていただければと思います。また繰り上げの場合、例年七月に集中致しますので、お早めにご相談ください。

8月に お伺い できない日	● 棚経期間 ● お墓参り期間 ● 法要の日	1日～12日 13日～16日 20日
---------------------	------------------------------	--------------------------

この日以外のご法事はお受けできませんが、あらかじめ日時をご相談の上、決定して下さい。

活動のご案内

薬王寺では地域に密着したお寺を目指すため、様々な活動を行っております。皆さまのご参加、お待ちしております。

子ども空手教室 心と体を鍛えましょう 毎週月・木・土曜日 午後5時より お寺 全道中学3連覇中	共に心と体を鍛え「自分力」を磨きましょう!初心者大歓迎です。いつでも見学に来てください。幼稚園のお子様から始められます。
坐禅会 体と心を鍛えましょう! 毎月1日・15日 午前7時より 参加無料	忙しい毎日の中、静かな時間を過ごしませんか?坐禅は身と息を調え、心を鍛えます。初めてでも大丈夫!座りやすい服装でおいでください。
ご詠歌 仲良く楽しく 唱えましょう 毎週金曜日 午後1時より 会費あり	ご詠歌を聞かれた事はありますか?ごき人への追憶の思いに涙があふれます。歌の得手不得手は関係ありません。一緒に唱えましょう。
ヨガ教室 心と体と向き合しましょう	呼吸とポーズを組み合わせるヨガは、心身をリラックスさせ、不調を整える効果があると言われています。
スキー少年団 心と頭と感性を磨きましょう	お寺では、住職の長女・亜実さんがお手伝いしているアルペンスキー少年団の指導も行っており、心と身体と感性を一緒に磨いてトレーニングに励んでいます。

暑中御見舞い 申し上げます



人間のお付き合いは厄介なものです。例えば好き嫌い。愛憎紙一重と云う諺もあります。夫婦や友人の間でも、永い人生、愛と憎しみがコロコロ変わります。「あんなに好きだったのに、今は大嫌い」「嫌いだっただのに惚れ直した」。これは誰もが経験することです。經典では「愛より愛を生じ、愛より憎しみを生じる。憎より愛が生じ、愛より憎しみを生じる」と説きます。つまり、愛と憎しみは対極にあるのではなく表裏一体。それが人間の性(さが)なのです。むしろ好き嫌い、愛憎の繰り返しは、その喜怒哀楽を通して豊かな感性や人間性を磨いてくれるのです。道元禅師は「己れ未だわたらざる前に一切衆生をわたさんと發願しいとなむなり」と、おっしゃっています。他人の幸せを願える私になりたい。平たく云えば、他人の幸せがあったこそ、自分の幸せを得られると勧めています。人間関係の愛憎とは崇高な感性の発露で、恐れたり逃げたりするものではないのです。怖いのは、むしろ「無関心」です。人間関係や社会問題にまるで関心が無い。当たらず触らず。のれんに腕押し。付和雷同。せいぜい自己主張するのは、



自分に影響がない時だけ。こんな風潮がやたらと横溢しています。とても寂しいことです。「無関心」は、無気力、無責任、無感動を誘導します。人間の成熟を止め、社会全体の衰退すら招きます。本当に、我が身、我が子孫の幸せを願うなら、「無関心」こそ最大の障害と自覚することでしょう。間もなく「お盆」を迎えます。コロナ禍にあつて、「お盆」の意義は年々薄れ、単なる夏季休暇や里帰り期間になりつつあります。内地と比べると北海道は在住家系が四一五代と短く、核家族化もあつて最も希薄とも云われます。しかし、お盆は仏教伝来の飛鳥時代に始まり、鎌倉時代に定着した数少ない日本古来の伝統・風習。自分の先祖や故人が、正月とこの時に我が家に帰ってくる祖霊信仰に基づく最も大切な行事です。最近ではコロナ禍もうすれて、久々に帰郷する家族が多いと思います。その際、家族や子供たちに、改めて「お盆」とは「我が家の先祖や亡き人とは」を語りかけては如何でしょうか。誰もが幸せになるために、皆様にとつて温かいお盆を祈ります。 合掌

編集後記

備えあれば 憂いなし

あらかじめ十分な準備をしておけば、いろいろな事が起きても慌てる必要はないと言つことわざ。

備えあれば憂いなし

中国の歴史書の書経(しよきょう)が由来と言われ、尚書と呼ばれることもあり、古代中国の時代から周王朝までの天子や諸侯の心構えや訓戒などが記載されています。宰相が王に進言する会話の場面にてくる言葉で原文は「有備無患」。

この言葉は、私達の生活のあらゆるシーン、仕事、災害、コロナ過、何より今の時代に、必要な事とあらためて感じています。

佛心塾の生徒たちとも沢山の練習、鍛錬を行ってきていますが、試合に勝つための準備、鍛錬するための準備、社会に出て働くため、優しく逞しく誠実な大人になるための準備を、一緒に学んで行きたいと思っています。

お寺を日々応援していただいている檀家様、ご関係の皆様のためにもこれからも精進してまいります。心より感謝申し上げます。

院代 慎龍 合掌

8月 お詣り予定

(月参りはお休みです)

1日〜12日

午前7時から午後6時まで
お盆のお詣りに伺います

◇御先祖様をお迎えする為の、大切なお勤めです。地区の担当者が予定日を決めて、ご自宅にお伺いします。ご御協力お願い致します。

日時のご案内は発送済みです
届いていない方はご連絡下さい

【お盆まいりのお願いです】

- 住所変更や日時の御変更、お休みの時は、お手数ですが、お早目にお知らせ下さい。
- ハガキに午前・午後と、時間帯に○印が付いています。おおよその目安で前後することもございます。恐れ入りますが、お時間には余裕を持ってお待ち下さい。
- この期間中は、お寺に僧侶が不在がちです。ので御了承下さい。
- お伺いの際に水供養塔婆(水塔婆)をお持ち致します。口の広めのコップに、水を半分ほど入れ御用意下さい。水塔婆は十六日まで、毎朝水を取り替えると丁寧ですね。



※十六日が終わりましたら水から出し、乾燥させて、二十日の法要に御持参頂くか、半紙等にくるみ、来年のお盆か、次の御命日の時に、お渡し下さい。

13日〜16日

お墓参りの期間です

※お寺の開門は
午前7時から午後7時まで

◇お墓に御先祖様のお参りに行きます。お寺では朝七時より夜七時まで開門してます。お経のお申し込みは受付順です。お供物は、皆様でお召し上がり頂く事も御供養です。出来るだけお持ち帰り下さい。

《駐車場ののご案内》

新本堂の駐車場も使用できます。また境内での事故や盗難に関しては責任を負いかねますので充分ご注意ください。

貴重品は必ずお持ち下さい!

15日 新盆供養

午後4時30分より

今年新盆の方は、令和四年六月二十六日〜令和五年六月二十五日迄の仏様です。

◇今年初めてお盆を迎えられる精霊様だけの御供養です。想いを込めて灯火を供え、お塔婆を建立して供養の誠を捧げましょう。午後四時までお越し下さい。(法要中は本堂納骨堂でのお参りを御遠慮して頂く事があります。)



御先祖供養、回忌供養の方は二十日の法要へお越し下さい

16日 お供物のお下げ

午後より

◇境内のお墓や納骨堂のお供えを下げる日です。御檀家さんや婦人会の皆さんにお手伝い頂き、お掃除をします。ご協力頂ける方は、お昼頃までお越し下さい。



当日お参りの方は、御供物のお持ち帰りを協力下さい

20日 お盆大法要

午後13時半より

◇お盆総供養の大塔婆供養を致します。本年回忌を迎える方にはご案内を同封させて頂いております。お塔婆供養は回忌にあたる方だけではなく御先祖様への供養もしております。

当日ご参詣にならない場合は、お寺が代わってご供養致します。当日のお申込みも可能ですが、なるべく午前中までにお申込みをお願い致します。

◇当日はお焚き上げ供養も行ないます。古い御守りや水塔婆などお持ち下さい。ただし生ものや不燃物は受付出来ません。

20日 からの お参りは

◇お寺は二十日以降、お盆の片付けに入りますが、祥月命日(本命日)や中陰(四十九日中のお詣り)、ご法事のお勤めにあがりますので、お時間の予定など遠慮なく御相談下さい。

《護持会費について》年間一万円

檀信徒皆様が気持ち良く御参り頂けるように、お寺や境内地を管理・整備させて頂く為の大切な会費です。境内の「お墓や納骨堂の有無に関わらず」月命日、本命日やお盆、ご法事等に伺っている場合には、必ずお納め頂く会費です、どうかご理解ご御協力の程、宜しくお願ひ申し上げます。

東原俊郎

総代長からのご挨拶



お盆をひかえ、皆様におかれましては、益々ご清祥のことと存じます。

4年前より計らずも総代長を勤めさせて頂いたとき、ご住職として皆様とともに薬王寺がより良い心の拠り所となるようお手伝をさせて頂いてまいりました。この間は、我々にとって過酷な数年となりまして。特に、コロナ禍では、今まで当たり前だったことが、そうでなくなる日々が続きました。私は、これを危機感ととらえるのではなく、チャンスととらえて日々事業に取り組みできました。そして、その時代の中で、今を生きることの大切さをあらためて感じています。昨年7月に、ご住職やお寺の皆様のおかげで、母の3回忌の法要を滞りなく済ませる事ができました。母から生き方を学び、誠実にその時々を人生を歩んできました。今年も、コロナ禍が終息し、人々にとつともつと大切な出会いの場が戻りつつあります。今を精一杯生き、皆様とともにお寺の発展のため微力ながら努めてまいります。皆様のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。檀信徒の皆様のご健康とご多幸、心から御祈願申し上げます。

遊佐敬二

護持会長からのご挨拶



遊佐さんはこの度札幌教区全体の護持会会長に就任されました。

私は護持会を代表して一言ご挨拶をさせて頂きます。

早いものでもうお盆の季節となりました。私たちの菩提寺である大乘院にはお墓や納骨堂がたくさんありますのでこの季節はお寺が賑やかになります。私が日々を過ごせているのもご先祖様のおかげです。

以前御住職に「お寺は生きてるうちが大事」と言われましたがまさに今を生きる私たちに愛する家族と心の拠り所としてお寺は大切です。ご先祖様への感謝報恩、そしてお寺への感謝をもって日々を過ごしたいと思えます。皆様もどうぞお体にお気を付けてお過ごしください。

またお墓参りの際は暑さに負けない明るい笑顔で感謝の合掌をして頂けたらと存じます。末尾になりますが私たちがのお寺、宮の森大乘院の発展と檀信徒皆様のご健勝とご多幸を心から御祈念申し上げます。ご挨拶ご致します。

◆お盆のお参りにお伺いいたします

夏らしい日が続いております。お参りに伺うと皆様から、お茶を出していただいたり、いろいろなお話し伺ったり、故人様、仏様を作ってくださった仏縁に感謝してあります。今年もご自宅等へのお盆のお参りをさせていただきます。



住職 田中 清元



副住職 田中 基裕



森川 敬道



院代 橋坂 慎龍



鶴間 隆道



井崎 信海

お盆は御先祖様や人と人との繋がりを大切にすることがあります。今年もお寺とご縁のあるお坊さんにお盆経のお手伝いをして頂きます。また、皆様にご愛が注いでいる御住職のお孫さんで副住職の長男田中裕元君と三男田中隆元君が立派に成長し、この度初めて山内のお勤めをする事になりました。未熟な部分があるかも知れませんが温かく見守って頂けると幸いです。



北山 智宗 廣澤 一徳



秋田 洋壽 ルイス 隆祥

【お塔婆・ご志納のお申込み】

お詣りに伺った際には、新盆(十五日)、お盆法要(二十日)の「お塔婆供養」と「ご志納」のお申込をお受け致します。同封の「申込書」に必要事項をご記入頂き、供養料と一緒に御渡して下さい。併せて護持会費のご納金もお受け致します。

回忌案内が届きの場合は、申込み書に添えてお渡し下さい。

御郵送 での御申込みもできます

お盆のお詣りに伺わない方は同封の申込用紙に必要事項をご記入の上、茶色の返信用封筒(切手不要)にて御返送下さい。ご供養料は同封の郵便局の振込用紙にてご納金下さい。※年忌に当たらない仏様のご供養もできます。



年忌にあたらぬ仏様のご供養もできます。

ご塔婆はお地藏様を囲み一年間建立しご供養致します

- 大塔婆供養・一万円 (戒名法名が家名)
- 中塔婆供養・五千元 (家名のみ)
- 万燈供養・五千元 (提灯供養、家名のみ)

◆大塔婆供養

だいたい

今年法事を迎えられる方、御年忌に当たらずとも御先祖様への御供養のために感謝報恩のお勤めをおすすめ致します。御供養されたお塔婆は境内地に来年夏まで建立安置させていただきます。また、やむなくコロナ禍の中、ご法事や柵経、お墓参りを見合わせた方には特にお塔婆の建立をお勧めいたします。※当日お越しにならない方は、お寺で代わりにお勤め致しますのでご安心ください。

◆お塔婆の意味と目的

お塔婆とは、もともと仏塔という意味の「ストウパ」が語源とされ、お釈迦様のご遺骨を納められた五輪塔がその由来です。五輪塔の5つの形の意味は、上から宝珠型「空」、半円「風」、三角「火」、円「水」、四角「地」となり、宇宙を構成する5つの要素を表し、仏教では人間もこの5つの要素によって生かされていると教えられています。

◆今年のお参りは手ぶらでお越し頂けます

いつもお参りご苦労様で御座います。今年のお盆はお檀家様のご負担を少しでも軽減出来たらと、8月5日(土)・6日(日)・11日(金)・15日(火)で山内で仏花・お線香等をお求め頂けるように致しました。また、お念珠や御供物、返礼品のアウトレットセールもお求め頂けます。今年のお参りは手ぶらでお越しください。詳しくは、同封のパンフレットをご覧ください。

